



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月26日

上場会社名 アツギ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3529 URL <https://www.atsugi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 洋志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括 (氏名) 岡田 武浩

TEL 046-235-8107

四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	10,924	△6.9	△28	—	88	△84.4	43	△88.6
30年3月期第2四半期	11,738	5.3	434	△27.1	562	24.1	382	34.8

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 451百万円 (△68.0%) 30年3月期第2四半期 1,409百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	2.72	—
30年3月期第2四半期	23.53	—

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	58,098		48,895			83.9
30年3月期	57,842		48,926			84.4

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 48,766百万円 30年3月期 48,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	△4.0	500	△41.1	600	△28.0	350	△39.6	21.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	17,319,568 株	30年3月期	17,319,568 株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	1,284,729 株	30年3月期	1,283,252 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	16,035,512 株	30年3月期2Q	16,241,577 株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部企業における収益や雇用環境の改善が継続するなど、全体として緩やかな回復基調となりました。その一方で、米中間の貿易摩擦の激化や東アジア地域における地政学リスクなどにより世界経済の不確実性は高まっており、先行き不透明な状況で推移しました。

繊維業界においては、先行き不透明感による消費者の節約志向・生活防衛意識は依然として根強く、個人消費は引き続き力強さに欠ける状況が続いております。またインバウンド需要にも減少が見られ、企業間競争が一段と激化するなど、厳しい環境にあります。

このような状況のもと当社グループは、中期経営計画『ATSUGI VISION 2020』をスタートさせました。『ATSUGI VISION 2020』では、「更なる利益率の向上」に重点を置き、これまで培ってきた当社の強みを維持しつつ、利益を創出していくための新たな施策によって次の時代を見据えた事業構造への転換を図り、持続的な成長を可能とする強固な事業基盤の構築を進めてまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 10,924 百万円(前年同四半期比 6.9%減)、営業損失は 28 百万円(前年同四半期は 434 百万円の利益)、経常利益は 88 百万円(前年同四半期比 84.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は 43 百万円(前年同四半期比 88.6%減)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

〔繊維事業〕

レッグウェア分野はプレーンストッキングやショートストッキングを中心とした夏物商品の伸び悩み、プレーンタイツなどの秋冬物の導入の遅れなど全般的に厳しく、同分野の売上高は 8,711 百万円(前年同四半期比 8.6%減)となりました。

インナーウェア分野はスポーツインナー関連が順調に推移したほか、主力のショーツも好調に推移し、同分野の売上高は 1,618 百万円(前年同四半期比 1.8%増)となりました。

これらの結果、繊維事業の売上高は 10,329 百万円(前年同四半期比 7.1%減)、営業損失は 269 百万円(前年同四半期は 161 百万円の利益)となりました。

〔不動産事業〕

不動産事業は保有資産の有効活用を進めておりますが、当事業の売上高は 291 百万円(前年同四半期比 9.3%減)、営業利益は 205 百万円(前年同四半期比 14.5%減)となりました。

〔その他〕

その他の事業につきましては、介護用品の販売は堅調に推移しました。一方で、太陽光発電による売電は天候の影響などにより発電量が減少いたしました。これらの結果、当事業の売上高は 303 百万円(前年同四半期比 1.3%増)、営業利益は 35 百万円(前年同四半期比 10.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は 58,098 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 256 百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の減少 1,330 百万円、たな卸資産の増加 1,209 百万円および投資有価証券の増加 343 百万円等によるものであります。

負債の部は 9,202 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 287 百万円増加いたしました。これは主に、仕入債務の増加 334 百万円、繰延税金負債の増加 320 百万円および通貨オプションの減少 467 百万円等によるものであります。

純資産の部は 48,895 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 31 百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益 43 百万円の計上や、前期決算に係る配当金 481 百万円による減少およびその他の包括利益累計額の増加 407 百万円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は 83.9%(前連結会計年度末は 84.4%)となりました。

[連結キャッシュ・フローの状況]

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益 158 百万円、減価償却費 479 百万円等がありましたが、たな卸資産の増加 1,235 百万円等により、差引 428 百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得 407 百万円、投資有価証券の取得 243 百万円および投資有価証券の売却 327 百万円等により、207 百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により、490 百万円の支出となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ 1,148 百万円減少し、7,294 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の動向等を勘案し、平成 30 年5月 11 日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成 30 年 10 月 24 日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,119	7,789
受取手形及び売掛金	4,516	4,473
商品及び製品	4,730	5,966
仕掛品	1,795	1,804
原材料及び貯蔵品	530	496
その他	327	476
貸倒引当金	△11	△66
流動資産合計	21,008	20,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,594	5,796
機械装置及び運搬具（純額）	3,381	3,157
土地	16,307	16,289
建設仮勘定	44	116
その他（純額）	152	146
有形固定資産合計	25,480	25,506
無形固定資産	289	265
投資その他の資産		
投資有価証券	10,695	11,038
繰延税金資産	51	75
その他	316	274
貸倒引当金	△0	△2
投資その他の資産合計	11,063	11,387
固定資産合計	36,833	37,159
資産合計	57,842	58,098

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,622	2,956
未払法人税等	154	211
賞与引当金	123	123
その他	1,495	1,103
流動負債合計	4,394	4,395
固定負債		
繰延税金負債	1,006	1,327
再評価に係る繰延税金負債	1,850	1,850
退職給付に係る負債	1,343	1,326
その他	320	303
固定負債合計	4,520	4,807
負債合計	8,915	9,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,706	31,706
資本剰余金	9,345	9,345
利益剰余金	5,250	4,812
自己株式	△1,457	△1,459
株主資本合計	44,844	44,405
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,898	4,043
繰延ヘッジ損益	△324	48
土地再評価差額金	△406	△406
為替換算調整勘定	786	675
その他の包括利益累計額合計	3,954	4,361
非支配株主持分	128	128
純資産合計	48,926	48,895
負債純資産合計	57,842	58,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	11,738	10,924
売上原価	7,893	7,470
売上総利益	3,845	3,454
販売費及び一般管理費	3,410	3,482
営業利益又は営業損失(△)	434	△28
営業外収益		
受取利息及び配当金	116	127
持分法による投資利益	—	5
為替差益	42	—
その他	24	24
営業外収益合計	182	157
営業外費用		
持分法による投資損失	16	—
為替差損	—	16
租税公課	14	14
その他	23	10
営業外費用合計	54	41
経常利益	562	88
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	144
特別利益合計	0	145
特別損失		
固定資産除却損	11	21
貸倒引当金繰入額	—	52
特別損失合計	11	74
税金等調整前四半期純利益	551	158
法人税、住民税及び事業税	175	116
法人税等調整額	△10	△5
法人税等合計	165	110
四半期純利益	385	47
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	382	43

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	385	47
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	694	144
繰延ヘッジ損益	102	372
為替換算調整勘定	212	△111
持分法適用会社に対する持分相当額	12	△2
その他の包括利益合計	1,023	403
四半期包括利益	1,409	451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,399	450
非支配株主に係る四半期包括利益	9	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	551	158
減価償却費	504	479
のれん償却額	16	16
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	57
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△20	△18
受取利息及び受取配当金	△116	△127
持分法による投資損益 (△は益)	16	△5
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△144
有形固定資産除却損	11	21
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△354	33
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△354	△1,235
仕入債務の増減額 (△は減少)	383	333
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△135	△153
その他	△188	△11
小計	311	△595
利息及び配当金の受取額	117	127
関係会社整理損の支払額	△39	—
法人税等の支払額	△329	△52
法人税等の還付額	—	92
営業活動によるキャッシュ・フロー	60	△428
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△254	△82
定期預金の払戻による収入	407	247
有形固定資産の取得による支出	△439	△407
有形固定資産の売却による収入	0	18
無形固定資産の取得による支出	△18	△13
投資有価証券の取得による支出	△19	△243
投資有価証券の売却による収入	178	327
貸付けによる支出	—	△52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146	△207
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△482	△476
非支配株主への配当金の支払額	—	△11
自己株式の増減額 (△は増加)	△2	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△485	△490
現金及び現金同等物に係る換算差額	61	△22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△509	△1,148
現金及び現金同等物の期首残高	8,421	8,442
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,912	7,294

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(['税効果会計に係る会計基準』の一部改正)等の適用)

['税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	11,117	321	11,439	299	11,738	-	11,738
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	-	2	-	2	△ 2	-
計	11,120	321	11,442	299	11,741	△ 2	11,738
セグメント利益	161	240	402	32	434	-	434

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売および太陽光発電による売電であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	10,329	291	10,621	303	10,924	-	10,924
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	-	1	0	1	△ 1	-
計	10,331	291	10,622	303	10,926	△ 1	10,924
セグメント利益又は損失(△)	△ 269	205	△ 63	35	△ 28	-	△ 28

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売および太陽光発電による売電であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。